

170403 & 10 4月朝礼訓示 #1704

新入職員の皆さん、病院には慣れましたか？・・・と申しても、入職してからまだ1週間しか経っていませんでしたね。先週4/3の入社式でも述べました通り、まずは数ある病院の中から当院を選び就職して下さい。本当に有難う&お目出度うございます。

皆さんの殆どは、20歳代前半で正に青春真只中といったところでしょうか？人生の各年代(life cycle)は4つの色と四季を表す漢字の組合せで、青春15～34歳、朱夏35～54歳、白秋55～74歳、玄冬75歳～と呼称されるのはご存知でしょうか(年齢幅の定義は様々ありますが、我国の超高齢化に照らして勝手に自分で分けてみました；不悪、ご了承ください)。参考にはなりません、、、

青春時代：両親や周りの人達の援助を受け、高校進学後はクラブや受験勉強に没頭し、大学入学～卒業後に無事社会人となり、慣れない仕事を覚えながらも新しい家庭を持ち、家族も増え責任を背負う準備期間とも言えます。外の関連病院出張を繰り返した後の留学もこの時代の最後の方でしたが、若く澁刺とした時代でした。

朱夏時代：生活も充実し臨床／研究ともに楽しく脂の乗った頃(メタボ症候群!?)で、前半は仕事と子育て(家内のみに)に追われ、残業150時間/月越えて我武者羅に仕事(多くは雑用)をこなし、上司と部下に挟まれstruggleしながらも独立して行く年代。後半は、若い頃に種を蒔き育った少ない実の収穫をするとともに、迫り来る白秋/玄冬へと繋いで行く年代でしょうか。帰学後、助手～准教授まで大学病院にお世話になった期間に相当します。

白秋時代：大学を辞し誠愛リハビリ病院に就職して以来の准高齢者直前の現在に当たります。髪の毛は薄く白髪も目立ち、黄昏れを初めて感じるなど“白秋”とは言い得て妙です。本来、人間的に落ち着きも出て所作や言動にも重み・深みを感じられる頃なのですが,,,(程遠いです)。心身ともにピークは過ぎているのですが、それまで培ってきた筈の技、知識、経験などを次世代に繋ぐべく、周囲の人達の師となる年代でもあります。

玄冬時代：人生のfinal cornerを曲がってgoalまで(准高齢期に続く真の高齢期に相当)。次世代に全てを託し、自らは身を退く年代と思われれます。自分から意見することは敢えてせず、優しく包むように周囲を見守っていくことが重要な役割となります(結構難しそう!)。しかし若人にはない豊かな人生経験がある訳ですから、職員の知恵袋のような存在になれるよう日々精進して無理なく然り気なく生きる人生集大成の時代でしょうか。

以上は、人生の3/4近傍に位置すると思われる私が自分勝手に描いてみた「青朱白玄✕春夏秋冬」の目安です。今の時代 高齢でも元気な人は大勢いらっしゃるの、そういう方は玄冬の時期が一番長くなるのかもしれませんが。今年の今頃から半年間、当院の廃用+運動器リハビリでお蔭様で息を吹き返した我母も、今年は要介護4の状態ではありますが、目出度く数えの卒寿を迎えることができます。右大腿骨頸部骨折部位は、重症心筋症が故にオペは断念せざるを得ませんでした(自分が下手に医者だったから却って悪いことをしたかなと半分後悔)、今では自分でベッドから起き上がり、見守り下で両手を使って下肢を持ち上げ車椅子に移乗、整容したり食事を摂ったりできますので、家族はとても感謝し満足しています。たまに子供達の名前を忘れることもありますが、一旦は5点に下がったMMSEが20点以上まで回復したのですから何も言うことはありません。

当院に赴任後 早くも丸9年が過ぎ、この4月からは10年目がスタートします。大野城市に誠愛病院ができて、これまた今年で30年目を迎えます。リハビリはヒトが人にしてあげられる、心身ともに優しく温もりのある最善の医療remedyではないかと、今では確信しています。満開の桜に囲まれ、かかる職種に就かれた回復期リハビリ病院1年目の皆さんを心から祝福し応援いたします。